



第100回 学長定例記者会見

日時：平成30年7月26日（木）10：30～11：00

場所：広島大学 東広島キャンパス 法人本部棟2階 2F会議室

※テレビ会議システムにより、記者会見の様相を同時配信

受信場所：東千田キャンパス 総合校舎1階 会議室

※Ustream およびYouTube による録画配信を実施

【発表事項】

1. 平成30年7月豪雨災害による広島大学の被害と取り組みについて
2. 原爆の日に関連した広島大学主催行事について
  - (1) 2018年度広島大学平和センター記念国際シンポジウム
  - (2) 2018年度広島大学資料展示「病理学者、原子野をゆく」
  - (3) 広島大学原爆死没者追悼式
  - (4) 広島大学平和企画
3. 入試情報の取り扱い（解答の公表等）について

【お知らせ】

1. 第1回ダイバーシティ環境推進シンポジウムを開催します
2. 広島大学大学院文学研究科・文学部 第16回「文藝学校」講演会を開催します

■次回の学長定例記者会見（予定）

日時：未定

場所：未定



平成 30 年 7 月 26 日

平成 30 年 7 月豪雨災害による広島大学の被害と取り組み

7 月 6 日～8 日にかけての西日本を中心とした豪雨災害により、広島大学での被害状況と、災害に対する取り組みについては以下のとおりです。

1. 被害状況

(1) 本学構成員・同家族の被災状況 (7/23 現在)

(2) 物的被害

2. 災害に対する取り組み

(1) 休講措置

(2) 附属病院における対応

(3) 附属図書館

(4) 留学生対応

(5) 広島大学平成 30 年 7 月豪雨災害調査団の設置 (7 月 11 日)

(6) 広島大学防災・減災センターの設置検討開始 (7 月 11 日)

(7) 臨時バスの運行

(8) その他

【お問い合わせ先】

財務・総務室広報部広報グループ  
TEL:082-424-3749 FAX:082-424-6040

# 平成 30 年 7 月豪雨災害による被災状況及び対応について

平成 30 年 7 月 24 日 (火)

広 島 大 学

## 1. 被害状況

### (1) 本学構成員・同家族の被災状況 (7/23 現在)

#### ① 教職員・同家族

・死亡	1 件
・負傷	1 件
・家屋等の損壊, 浸水, 停電, 断水等	65 件
・避難所等への避難	5 件

#### ② 学生, 生徒, 児童等・同家族

・死亡	0 件
・負傷	0 件
・家屋等の損壊, 浸水, 停電, 断水等	47 件
・避難所等への避難	2 件

### (2) 物的被害【資料 1】

#### ①建物

- ・環境安全センター地下室の浸水 → 流入水の排水は完了, 三次洗浄水以降の排水を公共下水へ接続

#### ②土地

- ・附属幼稚園北, 東側の土砂崩れ → 土砂撤去済み, 応急の土止めを手配中
- ・ががら第一職員宿舎東側土砂崩れ → 土砂撤去済み, 応急の土止めを手配中
- ・六方学園への土砂の流出 → 土砂撤去完了
- ・池ノ上学生宿舎, 山中池付近の土砂流入 → 土砂撤去済み, 通行止め解除
- ・中央図書館とサタケホール間の法面の崩れ → 通行止め措置 (8 月中に復旧見込み)
- ・総合科学部東側法面崩れ → 立入禁止措置
- ・三原附属幼小中プール横法面崩壊 → 立入禁止措置
- ・理学研究科附属臨海実験所門周辺に土砂流入 → 車道の土砂を撤去し, 通行止め解除
- ・宮島植物実験所へ至る道路崩落 (計 2 か所) → 応急措置の作業中, 片側通行可能

#### ③機器

- ・環境安全センター 地下ポンプ, 制御盤, 自家発電装置が水没 → 作動確認中

## 2. 主な対応

### (1) 休講措置

#### ①大学

<東広島キャンパス>

7月6日(金)～13日(金)

7月17日(火)から授業再開

<霞・東千田キャンパス>

7月10日(火)から授業を再開

※一斉休講の補講は別添(資料3)のとおり実施予定

#### ②附属学校園

別添(資料4)のとおり

### (2) 大学病院における対応

#### ①患者受け入れ関係

- ・災害対策本部の設置(7月6日(金)～8日(日))
- ・治療エリアを2か所(赤エリア, 黄・緑エリア)設置(7月7日(土)～8日(日))
- ・患者の受入れ(7月6日(金)～8日(日)):災害関連18件)

#### ②派遣関係

- ・DMAT(災害派遣医療チーム)の派遣(7月6日(金)～11日(水)延べ4チーム)
- ・ドローン撮影(7月10日(火)矢野・浅田病院, 11日(水)府中町榎川上流)
- ・感染制御チームの派遣(7月13日(金), 14日(土), 17日(火), 20日(金)出動/JMATとして活動)
- ・災害支援ナースの派遣(7月13日(金)～25日(水), 27日(金)～30日(月)出動)
- ・広島県医療救護班調整本部へのコーディネーターの派遣(7月13日(金)～出動)
- ・JMAT(日本医師会災害医療チーム)の派遣(7月14日(土)～16日(月)出動)
- ・DPAT(災害派遣精神医療チーム)の派遣(7月15日(日)～17日(火), 19日(木), 21日(土), 23日(月)出動)
- ・JRAT(大規模災害リハビリテーション支援チーム)の派遣(7月17日(火)～19日(木), 23日(月)～25日(水)出動/JMATとして活動)
- ・口腔ケアチームの派遣準備(チーム構成済, 出動指示待ち)

#### ③その他

- ・医療従事者に対する看護師宿舎空き部屋の提供

### (3) 附属図書館

- ・5館(中央, 東, 西, 霞, 東千田) 臨時休館 7月6日(金)～9日(月)
- ・中央図書館 22時まで開館 7月10日(火)～13日(金)
- ・西図書館 17時まで開館 7月10日(火)～13日(金)
- ・東図書館 臨時休館 7月10日(火)～12日(木)
- ・東図書館 17時まで開館 7月13日(金)

- ・霞図書館，東千田図書館 通常開館 7月10日（火）～
- ・中央図書館，東図書館，西図書館 通常開館 7月14日（土）～
- ・他大学学生への図書館開放（「自大学への通学が困難な方へ」7月12日：図書館 HP 掲載）
- ・「他キャンパスからの資料取り寄せ等を再開」 7月18日（水）～

（4）留学生対応

- ・非正規留学生の安否確認，休講連絡（SNS，メール，又は直接）
- ・休講通知の中国語訳を中国語版HPに掲載
- ・最新の災害情報の提供（東広島市HP（多言語対応）など）
- ・留学生約150人に非常食120食分及びハラル対応もみじ饅頭等770個を無料配布（7月9日）
- ・中国 李天然大阪総領事が中国人留学生に対する災害対応慰労のため来学（7月23日）

（5）広島大学平成30年7月豪雨災害調査団の設置（7月11日）

- ・学内の防災研究分野の専門家を集め，越智学長を団長とする調査団を設置
- ・土石流・斜面災害，水文気象・洪水・氾濫，生活インフラ被害，公衆衛生・医療班の4つの班で調査を開始
- ・公式ウェブサイトの「豪雨災害に対する取り組み」で調査速報データ等を随時更新
- ・交通問題緊急対策会議
  - －7月13日（金），東広島市，東広島警察と17日（火）からの授業再開に向けた交通問題の対策を協議
  - －7月17日（火），東広島市，東広島警察，交通各社と当日のバス運行状況等の情報を共有し，今後の対策を協議
  - －7月19日（木）に，東広島駅の混雑・混乱解消のため，現地調査・対応協議
- ・7月17日（火）・18日（水）の2日間，交通問題緊急対策グループが大学周辺のバス交通状況をSNSでリアルタイム配信

（6）広島大学防災・減災センターの設置検討開始（7月11日）

- ・防災・減災に向けた社会貢献の取り組みとして，国，広島県，広島市，東広島市と連携し，情報発信，人材育成，地域支援，調査・研究の4つの機能を有するセンターの設置検討を開始

（7）臨時バスの運行

7月17日（火）からの授業再開に合わせ，8月9日（木）まで次のとおり臨時バスを運行  
 なお，7月28日（土）補講，8月4日（土）試験，8月5日（日）試験も同様に運行

①東広島駅～広島大学間

東広島駅発は14便の増便（始発7:00），広島大学発は10便の増便（最終便18:30）

②呉～広島大学間（借上バス）

往路）7:00 広島県呉合同庁舎玄関前発

8:30 広島大学東広島キャンパス大学会館前着

復路) 18:20 広島大学東広島キャンパス大学会館前発

19:50 広島県呉合同庁舎玄関前着

③グリーンフェニックス (広島バスセンター～広島大学間)

増便について現在要請中。

## (8) その他

### ①情報発信

- ・学長メッセージ (号外) の発出 (7月8日, 9日, 11日)
- ・副学長メッセージの発出 (7月12日)
- ・大学間協定校へ学長レターのメール送付 (7月17日)
- ・在学生 (留学生を除く約14,000名) の保護者宛てに「保護者・ご家族の皆様へ」とする学長メッセージを送付予定。8月初旬に刊行する広報誌「HU-Plus」に同封 (8月中旬頃発送予定)

### ②学生向け情報ポータルサイト 学生情報の森「もみじ」

- ・キャンパスネットワークを収容している光ファイバに切断の危険性が発生し、「もみじ Top」及び「My もみじ」へ接続できなくなる可能性が生じていたが、7月18日にキャンパスネットワークの損傷個所の迂回工事が完了し、切断の危険性は解消した。
- ・気象情報の発表, 交通機関の運休等に伴う一斉休講等の緊急連絡については、「もみじ Top」の緊急連絡欄において確認することとしているが、「もみじ Top」へアクセスできなくなった場合, 緊急連絡については「広大公式 HP」, 「広大公式 twitter」, 「広大公式 Facebook」で確認するよう学生へ周知した。

### ③学生宿舎の緊急募集

- ・申込相談 (7月23日 (月) 現在) 24人 (男子 9名, 女子 15名)
- ・入居状況 池の上学生宿舎 (男子用 54戸中) 6名入居済  
借上宿舎 (女子用 42戸中) 0名  
→ (ベッ等付生協物件へ) 6名入居済 1名検討中

### ④生協

#### ○生協 (食堂)

<東広島・霞・東千田キャンパス>

7月23日 (月) ~8月3日 (金) 通常通り営業 ※7月29日 (日) 休み

但し, 7月28日 (土), 8月4日 (土), 8月5日 (日) の補講・試験日は次の通り

<東広島キャンパス>

7月28日 (土)

西第2福利会館・大学会館・北第1福利会館→11:00~14:00

他は休み

8月4日 (土)・5日 (日)

西第2福利会館・大学会館・北第1福利会館・北第2福利会館・東福利会館→11:00~14:00

他は休み

<霞キャンパス>

7月28日(土) ヴィオラダイニング→11:00~14:00

8月4日(土)・5日(日) ヴィオラダイニング→検討中

<東千田キャンパス>

7月28日(土)・8月4日(土)・5日(日) プナナダイニング→11:00~20:00

#### ○生協(売店関係)

<東広島・霞・東千田キャンパス>

7月23日(月)~8月3日(金) 通常通り営業 ※7月29日(日) 休み

但し、7月28日(土)、8月4日(土)、8月5日(日)の補講・試験日は次の通り

<東広島キャンパス>

7月28日(土)

西第2福利会館→11:00-13:00, 北第1福利会館→10:30~14:00

他は休み

8月4日(土)

北第2福利会館・西第2福利会館・大学会館→11:00-13:00, 北第1福利会館→10:30~14:00

他は休み

8月5日(日)

北第2福利会館・西第2福利会館・大学会館→11:00-13:00, 北第1福利会館→10:30-14:00

他は休み

<霞キャンパス>

7月28日(土) ヴィオラショップ→休み

8月4日(土) ヴィオラショップ→10:00-13:30

8月5日(日) ヴィオラショップ→検討中

<東千田キャンパス>

7月28日(土) プナナショップ→11:00-20:00

8月4日(土)、8月5日(日) プナナショップ→検討中

#### ⑤学生ボランティア

7月10日(火) 学生ボランティア募集開始

7月11日(水) 学生ボランティア派遣 約70名

(西条町福本・西条町大沢・高屋町地区)

7月12日(木) 学生ボランティア派遣 約90名

(高屋町・安芸津・黒瀬・三永・郷曾・板城地区)

7月13日(金) 学生ボランティア派遣 約35名

(高屋町・安芸津・下三永・郷曾・板城・豊栄地区)

7月14日(土) 学生ボランティア派遣 約120名

(安芸津・志和・安浦地区)

7月15日(日) 学生ボランティア派遣 約120名

(安芸津・志和・安浦地区)

7月16日(月・祝) 学生ボランティア派遣 約130名

(安芸津・黒瀬・安浦地区)

7月21日(土) 学生ボランティア派遣 約70名

(東広島方面, 安浦方面, 音戸方面)

7月22日(日) 学生ボランティア派遣 約70名

(東広島方面, 安浦方面, 音戸方面)

⑥物資支援関係

○受領

- ・南相馬市の有志の方から, ペットボトル6,000本受領(7月15日)

(内訳: 本学2,000本, 東広島市社会福祉協議会4,000本)

- ・自転車競技チーム「チーム右京」を東広島市に有する元F1レーサーの片山右京さんから「チーム右京」として, 経口補水液用パウダー20箱を受領(7月18日)

○提供

- ・呉市役所へ土のう袋(4,900枚)を発送(7月18日)

- ・熊野町役場へ使い捨て皿(3,000枚)を届けた(7月20日)

⑦その他

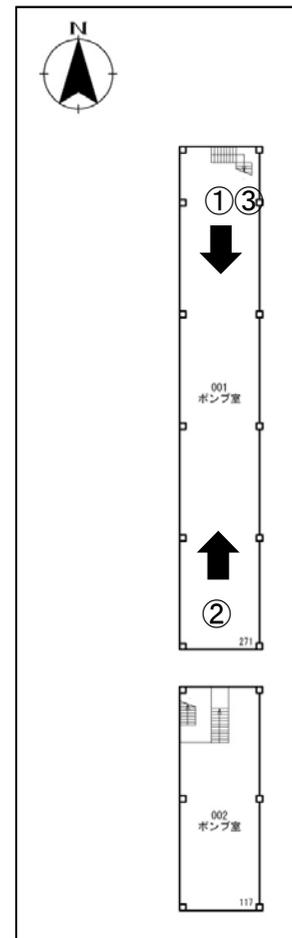
- ・義援金の開始(7月11日)

- ・文書館が水損した小学校の文書を受け取り, 修復作業を実施(7月17日)

# 被害写真

団地名 : 東広島団地(060)  
被災場所 : (038)環境安全センター  
被災番号 : ①  
被災箇所 : 地階ポンプ室  
被害内容 : 地階ポンプ室の冠水  
被害内容 : 実験排水処理設備(主としてポンプ類、制御盤)、  
自家発電設備、消火ポンプ設備等の水没

①冠水状況



②水没した機器

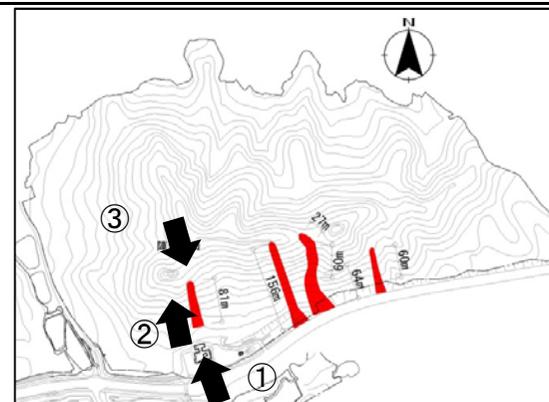


③水没した機器



## 被害写真

団地名 : 東広島団地(060)  
被災場所: 屋外(園舎(123)付近)  
被災番号: ②  
被災箇所: 山の斜面  
被害内容: 山の土砂流出



①山の土砂流出



園舎(123)

②山の土砂流出



③山の土砂流出



## 被害写真

団地名 : 東広島団地 (060)  
被災場所: 屋外 (ががら第1職員宿舎4号棟(142)の西側)  
被災番号: ⑥  
被災箇所: 山の斜面、構内道路、隣地  
被害内容: 山の土砂流出



①山の土砂流出



②構内道路に流出した土砂・樹木等



③隣地に流出した土砂



広島大学(東広島団地)

平成30年7月豪雨の影響による一斉休講の補講日の設定及び試験期間の変更について（予定）

2018年7月13日現在

以下情報は7月13日（金）時点での予定であり、今後、変更となる可能性がありますので、その際は改めてお知らせいたします。

2018年7月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6 ← 一斉休講 東広島キャンパス 霞・東千田キャンパス	7
8	9 東広島キャンパス 霞・東千田キャンパス	10 東広島キャンパス	11 東広島キャンパス	12 東広島キャンパス	13 (※月曜授業実施日) 東広島キャンパス	14
15	16 海の日	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28 7/9（月）の補講 東広島キャンパス 霞・東千田キャンパス
29	30 7/13（金）の補講 (※月曜授業実施日) 東広島キャンパス	31 7/10（火）の補講 東広島キャンパス	1	2	3	4

2018年8月

日	月	火	水	木	金	土
29	30	31	1 7/11（水）の補講 東広島キャンパス	2 7/12（木）の補講 東広島キャンパス	3 7/6（金）の補講 東広島キャンパス 霞・東千田キャンパス	4 月曜授業の試験 東広島キャンパス 霞・東千田キャンパス
5 火曜授業の試験 東広島キャンパス 霞・東千田キャンパス	6 平和記念日	7 水曜授業の試験 東広島キャンパス 霞・東千田キャンパス	8 木曜授業の試験 東広島キャンパス 霞・東千田キャンパス	9 金曜授業の試験 東広島キャンパス 霞・東千田キャンパス	10	11 山の日
12	13	14	15	16	17	18

補講日の設定について

【東広島キャンパス】

- ・7月28日（土）⇒ 7月 9日（月）の補講を実施
- ・7月30日（月）⇒ 7月13日（金）（※月曜授業実施日）の補講を実施
- ・7月31日（火）⇒ 7月10日（火）の補講を実施
- ・8月 1日（水）⇒ 7月11日（水）の補講を実施
- ・8月 2日（木）⇒ 7月12日（木）の補講を実施
- ・8月 3日（金）⇒ 7月 6日（金）の補講を実施

【霞・東千田キャンパス】

- ・7月28日（土）⇒ 7月9日（月）の補講を実施
- ・8月 3日（金）⇒ 7月6日（金）の補講を実施

試験期間の変更について

【東広島・霞・東千田キャンパス】

- ・8月4日（土）に月曜授業の期末試験を実施
- ・8月5日（日）に火曜授業の期末試験を実施
- ・8月7日（火）に水曜授業の期末試験を実施
- ・8月8日（水）に木曜授業の期末試験を実施
- ・8月9日（木）に金曜授業の期末試験を実施

## (2) 休校措置

## ② 附属学校園

## &lt; 附属幼稚園 &gt;

- ・ 7月6日(金) から 7月19日(木) まで臨時休園

## &lt; 附属小学校 &gt;

- ・ 7月6日(金) から 7月9日(月) まで臨時休校
- ・ 7月10日(火) から授業再開

## &lt; 附属中・高等学校 &gt;

- ・ 7月6日(金) から 7月9日(月) まで臨時休校
- ・ 7月10日(火) から授業再開

## &lt; 附属東雲小学校 &gt;

- ・ 7月6日(金) から 7月9日(月) まで臨時休校
- ・ 7月10日(火) から授業再開

## &lt; 附属東雲中学校 &gt;

- ・ 7月6日(金) から 7月9日(月) まで臨時休校
- ・ 7月10日(火) から授業再開

## &lt; 附属三原幼稚園・小学校・中学校 &gt;

- ・ 7月6日(金) から 7月20日(金) まで臨時休校

## &lt; 附属福山中・高等学校 &gt;

- ・ 7月6日(金) から 7月11日(水) まで臨時休校
- ・ 7月12日(木) から授業再開

## 被災した志願者に対する平成30年度実施の入学検定料免除について

平成30年7月25日（水）

広島大学

平成30年度7月豪雨による被災者に経済的負担を軽減し、志願者の進学機会の確保を図るため、平成30年度に実施する本学の入学者選抜において、検定料免除の特例措置を実施することとなりましたので、お知らせします。検定料免除は、志願者の学資負担者が所有する自宅家屋が全壊、大規模半壊、半壊又は流失した場合若しくは学資負担者が死亡又は行方不明の場合が対象となります。入学者選抜の出願までに入学センター又は各研究科の入試担当までご連絡ください。

また、入学後に安心して勉学が出来るような経済支援として、入学料の免除、授業料の免除などの制度があります。

入学料免除・授業料免除においては、過去の災害時に作成した方針に基づき被災学生に免除を行い、全額又は半額免除を実施します。

### 【問い合わせ先】

<検定料免除に関すること>

教育室教育部入学センター

電話 082-424-6185

<入学料・授業料免除に関すること>

教育室教育部学生生活支援グループ

電話 082-424-6163



平成 30 年 7 月 26 日

## 原爆の日に関連した広島大学主催行事について

73 回目の原爆の日を迎えるにあたり、広島大学の関連行事をご案内します。

8 月 2 日に広島大学平和センターの記念国際シンポジウムを開催します。「ヒロシマの平和、そして世界の平和—過去・現在・未来への展望」と題して、今日（こんにち）の「ヒロシマ」が平和構築をはじめ世界の平和に果たしうる役割について議論します。

8 月 3 日から 9 月 20 日まで資料展示会を開催します。原爆投下直後から被災者の治療や原因究明に尽力し、広島大学医学部病理学教室の初代教授であった玉川忠太氏の資料を中心に当時の医師たちの取り組みを紹介します。

8 月 6 日には、広島大学原爆死没者追悼式を開催します。広島大学に包括された旧制諸学校の教職員、学生、生徒および児童で、在職中または在学中に原子爆弾に被爆され、その後亡くなられた方々の霊を慰めるために執り行うものです。

今回は新たに 29 人を書き加え 1981 人となった原爆死没者名簿を奉納します。

また、死没者追悼式の後に、広島大学平和企画を実します。平和企画では、被爆者が持つ平和を希求する思いを継承していくため、被爆者や本学学生たちが書いた手紙や絵をタイムカプセルに入れて地中に埋めるタイムカプセル記念式。その手紙を書いた学生と留学生との意見交換会。核兵器廃絶国際キャンペーン（ICAN：アイキャン）国際運営委員の川崎 哲（かわさき あきら）氏による核兵器禁止条約の意義についての講演会を実施します。

### 【お問い合わせ先】

財務・総務室広報部広報グループ

TEL：082-424-3749 FAX：082-424-6040



平成 30 年 7 月 26 日

2018 年度広島大学平和センター記念国際シンポジウム  
「ヒロシマの平和、そして世界の平和ー過去・現在・未来への展望」  
を開催します

広島大学平和センターでは、下記の通り国際シンポジウムを開催します。

記

日 時：2018 年 8 月 2 日（木）13:30-17:00  
場 所：広島大学東千田未来創生センターM401  
言 語：英語 / 日本語（同時通訳付）  
主 催：広島大学平和センター

<スケジュール>

趣旨説明：

川野 徳幸（広島大学平和センター長・教授）

講演・パネルディスカッション：

竹峰 誠一郎（明星大学准教授・広島大学平和センター客員研究員）

福井 康人（広島市立大学准教授）

Camilo Alberto Borrero García（コロンビア国立大学教授）

片柳 真理（広島大学平和センター副センター長/広島大学大学院国際協力  
研究科副研究科長・教授）

モデレーター：

友次 晋介（広島大学平和センター准教授）

【お問い合わせ先】

広島大学平和センター 担当：下手

TEL：082-542-6975 FAX: 082-245-0585

E-mail: heiwa@hiroshima-u.ac.jp



International Symposium 2018 hosted by the Center for Peace, Hiroshima University  
2018年度広島大学平和センター記念国際シンポジウム



# “Peace” from the viewpoint of “Hiroshima and the world” :

## the past, the present, and the future ヒロシマの平和、そして世界の平和

— 過去・現在・未来への展望



2018年4月、平和科学研究センターは「広島大学平和センター」に発展し、平和に関する研究・教育において、これまで以上に学内外で「中心的役割」、まさに「センター」を担えるよう、機能強化を図ることとなりました。これを記念し、広島大学平和センターは国際シンポジウムを開催します。

2017年9月に核兵器禁止条約が成立しました。これは、これまでの被爆者の「核なき世界」実現へ向けた不断の努力、市民社会の力、人道的な価値観の全世界的な拡がりによって実を結びました。この度のシンポジウムでは、「ヒロシマ」の原点である原爆被ばくの問題を出発点として、今日の「ヒロシマ」が、平和構築をはじめ世界の平和に果たしうる役割について議論し、未来を展望します。

On April 1, 2018, the Institute for Peace Science evolved into the Center for Peace at Hiroshima University so that it can play “a central role”, literally as “the Center” in the field of peace studies and education. To commemorate this renewal, the Center for Peace will hold the 2018 International Symposium. In September 2017, Nuclear Weapons Ban Treaty was signed. This groundbreaking treaty was the fruit of unwavering and sincere efforts toward Nuclear Zero by *Hibakusha* or A-bomb survivors; the rise of Civil Society; and the spread of humanitarian values around the Globe. In this symposium, we will explore what Hiroshima can contribute to peacebuilding and other issues to attaining the world peace. Finally, we will discuss the prospect for our future.

**Date & Time: August 2nd 2018, 13:30 - 17:00**

**\*Venue open 13:00**

**Venue: Higashi-Senda Innovative Research Center M401, Hiroshima University**

**\*Admission free. 100 seats available.**

**Language: English / Japanese (with simultaneous interpretation)**

**Hosted by :The Center for Peace , Hiroshima University**

**【日時】 2018年8月2日 (木)**

**13:30-17:00 ※13:00開場**

**【場所】 広島大学**

**東千田未来創生センターM401**

**※入場無料 (先着100名)**

**【言語】 英語 / 日本語 (同時通訳付)**

**【主催】 広島大学平和センター**

\*Use of public transportation is recommended as parking spaces on campus are limited.

<From Hiroshima Station>

Take the tramway No.1 bound for Ujina Alight at Nisseki-byion-mae stop.  
Take the bus No.50 bound for ALPARK (by bus stop No.6)

\* 駐車場は台数に限りがあり有料ですので公共交通機関でお越し下さい。

<広島駅からの行き方>

広島電鉄路面電車1番線 (宇品行) 乗車 日赤病院前下車 徒歩1分  
広島バス50号東西線 (アルパーク方面行) (6番乗場) 乗車

Due to the limited availability of seats we recommend early registration. Please contact us by e-mail, FAX, or by telephone with your name, affiliation or company, contact e-mail address or your telephone number.



お席に限りがありますので、参加ご希望の方は、事前申し込みをお勧めします。ご氏名、ご所属、連絡先をFAX (送信表不要、下記をご利用ください)、またはメール (件名を「シンポ申込み:氏名」とする)、電話にて事前にお申し込み下さい。席に余裕がある場合は、当日参加も受け付けます。

**<FAX送信用>**

Name ご氏名	
Affiliation ご所属	
Tel or E-mail	

**<申し込み先/Contact Address>**

広島大学平和センター  
〒730-0053 広島市中区東千田町1-1-89  
The Center for Peace, Hiroshima University  
Higashisenda-machi 1-1-89, Naka-ku,  
Hiroshima 730-0053  
TEL : 082-542-6975 / FAX : 082-245-0585  
E-mail : heiwa@hiroshima-u.ac.jp  
URL : http://home.hiroshima-u.ac.jp/heiwa/



“Peace” from the viewpoint of “Hiroshima and the world”: the past, the present, and the future  
ヒロシマの平和、そして世界の平和－過去・現在・未来への展望

13:30～13:40 Opening Remarks/開会の言葉



**Mitsuo OCHI 越智光夫：広島大学長**

1952年愛媛県今治市生まれ。広島大学医学部卒業後、整形外科に入局し、ヨーロッパ留学などを経て、2007～11年広島大学病院長、2008～11年理事、2011～12年理事・副学長、2012～15年学長特命補佐を歴任。2015年4月より広島大学長。2010年に文部科学大臣表彰「科学技術賞」、2014年に産学官連携功労者表彰「厚生労働大臣賞」を受賞。医学博士。

13:40～15:40 Lecture/講演



<Introduction/趣旨説明>

**Noriyuki KAWANO 川野徳幸：広島大学平和センター長・教授**

広島大学大学院医歯薬学総合研究科博士課程修了（医学博士）。広島大学原爆放射線医科学研究所附属国際放射線情報センター助手・助教、広島大学平和科学研究センター准教授等を経て、2013年6月から広島大学平和科学研究センター教授。2017年4月より同センター長併任。専門は原爆・被ばく研究、平和学。



**Connecting Hiroshima and the Marshall Islands with the perspective of "Global Hibakusha"/ ヒロシマとマーシャル諸島を結ぶグローバルヒバクシャの視点から**

**Seiichiro TAKEMINE 竹峰誠一郎：明星大学准教授・広島大学平和センター客員研究員**

早稲田大学大学院アジア太平洋研究科博士課程修了、博士（学術）。三重大学研究員などを経て現職。「グローバルヒバクシャ」の概念を提唱し、社会学と平和学の見地からマーシャル諸島の米核実験被害調査に従事。日本平和学会理事、「原爆の図」丸木美術館評議員、第五福竜丸平和協会専門委員などを務める。主著に『マーシャル諸島 終わらなき核被害を生きる』（新泉社）。



**The Treaty on the Prohibition of Nuclear Weapons and its Challenges for the Future  
核兵器禁止条約と今後の課題**

**Yasuhito FUKUI 福井康人：広島市立大学准教授**

1964年、兵庫県生まれ。1987年、同志社大学法学部法律学科卒業。2009年、グルノーブル第2大学修士課程（国際安全保障・防衛コース）修了。2013年、パリ第1大学博士課程（国際法・EU法コース）修了。博士（法学）。1987年に外務省入省後、人権難民課、軍備管理軍縮課、国際組織犯罪室、国際平和協力室、軍縮会議日本政府代表部、在ルーマニア日本大使館、南山大学外国語学部（客員教授）などで勤務。2015年3月に外務省を退職し、同年4月より現職。単著に『軍縮国際法の強化』（信山社、2015年）、共著に『軍縮・軍備管理』（志学社、2017年）などがある。



**Achievements and Challenges in Peacebuilding in Colombia**

**コロンビアにおける平和構築の成果と課題**

**Camilo Alberto Borrero García：コロンビア国立大学教授**

コロンビア国立大学では法律学を、ロス・アンデス大学では家族法を専攻。ルーヴェン・カトリック大学大学院（ベルギー）で社会学を研究したのち、コロンビア国立大学より博士号（法学）を取得。専門は法社会学、人権、コミュニティ司法、移行期正義。コロンビア国立大学の平和研究センター「Centro de Pensamiento y Seguimiento a los Dialogos de Paz」の研究員も務める。



**Peacebuilding through Business/ビジネスを通じた平和構築**

**Mari KATAYANAGI 片柳真理：広島大学平和センター副センター長**

**広島大学大学院国際協力研究科副研究科長・教授**

1997年8月～1998年12月、国連東スラボニア暫定統治機構人権担当官、民生担当官。2001年に英国ウォーリック大学より法学博士号取得。2001～2003年、在ボスニア・ヘルツェゴビナ日本大使館専門調査員。2004年4月～2009年10月、ボスニア・ヘルツェゴビナ上級代表事務所政治顧問。JICA研究所主任研究員を経て2014年4月に広島大学准教授。2015年4月より現職。著書に*Human Rights Functions of United Nations Peacekeeping Operations* (Martinus Nijhoff Publishers, 2002)。平和維持、平和構築、紛争予防、紛争解決論の分野で人権の視点から研究を続けている。

15:40～15:55 Coffee break/休憩

15:55～16:55 Panel discussion/パネルディスカッション



<Moderator/ モデレーター>

**Shinsuke TOMOTSUGU 友次晋介：広島大学平和センター准教授**

2010年名古屋大学大学院修了、博士（法学）。2008年ジョージワシントン大学客員研究員、2011～14年名古屋短期大学英語コミュニケーション学科助教を経て、2014年4月より現職。著書に、「英ドーンレイと「アトミックス」たちの遺産—原子力研究開発拠点と立地地域の関係は如何に展開したか」若尾祐司、木戸衛一編『核開発時代の遺産—未来責任を問う』所収（昭和堂、2017年）など。

16:55～17:00 Closing Remarks/まとめ・閉会の言葉



<MC/司会>

**Asami OGURA 小倉亜紗美：広島大学平和センター助教**

2009年広島大学大学院生物圏科学研究科博士課程修了、博士（学術）。2009～10年広島大学総合博物館客員研究員、2010～14年広島大学国際センター研究員を経て、2014年4月より現職。専門は、環境平和学、環境保全（ESD,フェアトレードを含む）。



平成 30 年 7 月 26 日

## 2018 年度資料展示『病理学者、原子野をゆく

—広島大学医学部教授・玉川忠太の原爆症への挑戦—

1945 年 8 月の原爆投下直後から、広島では多くの医学者による救護活動が行われた。彼らは、当時としてはまだ知られていない原爆被災を受けて傷ついた多くの人々を目の前にして、その原因の究明や治療に力を尽くした。特に、医学者にとって未知の世界であった放射線災害の原因究明は、重く大きな課題となった。そして、その中に、広島大学医学部病理学教室の初代教授となった玉川忠太がいた。この当時、玉川は広島医学専門学校の教授であり、被爆直後の広島の原子野で奔走した科学者の一人であった。

本展示では、昨年 8 月に確認した広島大学大学院医歯薬保健学研究科分子病理学研究室に所蔵されている玉川忠太資料\*1を中心に、原爆放射線医科学研究所所蔵資料なども含め、被爆直後からの医学者たちの取り組みの一端を紹介する。

現在も原爆による身体への影響の実像は明らかではない。しかし、玉川忠太のような当時の広島の医者・医学者の究明への努力がスタートしなければ、被ばくの問題について、現在のレベルほどに今私たちは迫ることはなかったはずである。その原点の意味を改めて問い直す。

### 記

1. タイトル：「病理学者、原子野をゆく広島大学医学部教授・玉川忠太の原爆症への挑戦」
2. 場 所：広島大学医学部医学資料館（広島大学霞キャンパス）
3. 開催期間：2018 年 8 月 3 日（金）～9 月 20（木）  
※前日（8 月 2 日（木）14：00）プレオープン（マスコミ向け内覧会）
4. 特別協力：広島大学大学院医歯薬保健学研究科 分子病理学研究室
5. 共 催：広島大学原爆放射線医科学研究所・広島大学医学部  
放射線災害・医科学研究拠点（広島大学・長崎大学・福島県立医科大学）

\*1：2017 年 8 月 5 日『中国新聞』朝刊掲載記事「原爆死の解剖記録 克明 広島壊滅直後の 19 例 広島大院に現存」（西本雅実）参照

#### 【お問い合わせ先】

広島大学原爆放射線医科学研究所

附属被ばく資料調査解析部

担当：久保田明子

TEL:082-257-5936

FAX:082-257-5878

# 病理学者、 原子野をゆく

—広島大学医学部教授・玉川忠太の原爆症への挑戦—

(広島大学医学部所蔵資料および原爆放射線医科学研究所所蔵資料より)

※当時の玉川は広島大学医学部の前身である広島医学専門学校の教授でした

2018年 8/3(金)~9/20(木)

広島大学医学部医学資料館

10:00~16:00 (土曜日・日曜日・祝日・夏季休暇日閉館)  
広島大学雷キャンパス(大学病院前)

※入場無料※

特別協力 広島大学大学院 医歯薬保健学研究科 分子病理学研究室

共催 広島大学原爆放射線医科学研究所・広島大学医学部

放射線災害・医科学研究拠点 (広島大学・長崎大学・福島県立医科大学)

企画・製作 広島大学原爆放射線医科学研究所附属被ばく資料調査解析部

背景写真：湯崎稔資料 (広島大学原爆放射線医科学研究所所蔵)

\*展示問い合わせ TEL: 082-257-5877 附属被ばく資料調査解析部

# PATHOLOGIST IN ATOMIC FIELD



Challenge about Atomic Bomb  
Diseases from Dr. Tamagawa  
(Hiroshima University)

August 3  
~September 20, 2018

Museum of Medical History  
School of Medicine, Hiroshima University

Special cooperation

Department of Molecular Pathology, Graduate School of Biomedical & Health  
Sciences, Hiroshima University

Co-host

Research Institute for Radiation Biology and Medicine (RIRBM), Hiroshima University  
School of Medicine, Hiroshima University  
Research Center for Radiation Disaster Medical Science  
(Hiroshima University, Nagasaki University, Fukushima Medical University)

Planning and production

Division of Radiation Information Registry, RIRBM, Hiroshima University



平成 30 年 7 月 26 日

広島大学原爆死没者追悼式について

本学では、広島大学に包括された旧制諸学校の教職員、学生、生徒および児童で、在職中または在学中、広島に投下された原子爆弾により被爆され、その後亡くなられた方々の霊を慰めるため、下記のとおり原爆死没者追悼式を執り行います。

記

日 時：平成 30 年 8 月 6 日(月) 午前 10 時開式

場 所：広島大学東千田キャンパス内「広島大学原爆死没者追悼之碑」前  
(広島市中区東千田町一丁目 1 番 89 号)

式次第：開式の辞

原爆死没者名簿奉納

黙とう

追悼の辞

献花及び献水

閉式の辞

※今回新たに確認された死没者 29 人を書き加えた原爆死没者  
名簿（記載数 1,981 人）を奉納

<参考>

閉式後、引き続き、「原爆死没者遺骨埋葬の地碑」(東千田キャンパス内)に、  
広島文理科大学および広島高等師範学校の関係者による献花および献水を執  
り行います。

【お問い合わせ先】

財務・総務室財務・総務部総務グループ  
TEL:082-424-6032 FAX:082-424-6020



平成 30 年 7 月 26 日

## 8 月 6 日に広島大学平和企画を実施します

- ①タイムカプセル記念式
- ②平和に関する学生の意見交換会
- ③核兵器廃絶国際キャンペーン (ICAN) 国際運営委員 川崎哲氏による講演会

広島大学は、8 月 6 日に下記のとおり「広島大学平和企画」を実施しますのでご案内します。

### 記

【日 時】 8 月 6 日 (月) 10:45~15:00

【場 所】 広島大学 東千田キャンパス

【内 容】

10:45~11:05 東千田慰霊碑付近

① タイムカプセル記念式

被爆者が持つ平和を希求する思いを継承していくため、広島市内の被爆者、本学学生、留学生、教職員に書いていただいた平和を願う手紙や絵を、タイムカプセルに入れて地中に埋めます。

11:20~12:00 東千田未来創生センター 1 階 BIBLA Send

② 平和に関する学生の意見交換会

タイムカプセルに手紙を入れた本学学生と留学生による意見交換会を開催します。

13:30~15:00 東千田未来創生センター 4 階講義室

③ 核兵器廃絶国際キャンペーン (ICAN) 国際運営委員 川崎哲氏による講演会 (平和センター主催)

ピースボート共同代表、核兵器廃絶国際キャンペーン (ICAN) 国際運営委員の川崎哲 (かわさき あきら) 氏をお招きし、核兵器禁止条約の意義について講演会を開催します。(別添ポスター参照)

【お問い合わせ先】

講演会	： 国際室国際交流グループ	中家 (なかいえ)	TEL:082-424-6046
上記以外	： 国際室国際交流グループ	嘉陽 (かよう)	TEL:082-424-4566
			FAX:082-424-6179



平成 30 年 7 月 26 日

## 入試情報の取扱い（解答の公表等）について

この度、「平成 31 年度入学者選抜実施要項（平成 30 年 6 月 4 日付け文部科学省高等教育局長通知）」を踏まえ、本学の入試情報の取扱い（解答の公表等）について、取りまとめました。

### 1. 対象とする試験の範囲

一般入試前期日程、後期日程、広島大学光り輝き入試及び学部第 3 年次編入学試験のすべてを対象とする。

### 2. 試験問題の公表

(1) 試験問題については、公表するものとし、各入試方式とも原本の提供、閲覧及びホームページへの掲載を実施する。

ここで言う試験問題とは、一般入試前期日程及び後期日程の個別学力検査の問題並びにそれに準じた内容を持つ紙媒体により出題された問題で、受験者以外の第三者が見る可能性のあるものを指す。

なお、ホームページへは、著作物の権利処理を行わず、著作物名を明示すること等により問題の内容を明らかにする方法で掲載する。

(2) 公表の時期については、原則として各入試の合格者発表の期日までに開始する。

### 3. 解答の公表

(1) 解答の公表に関する基本的な考え方は、解答については「原則として公表する」ものとする。ただし、一義的な解答が示せない記述式の問題等については、「出題の意図又は複数の若しくは標準的な解答例等を原則として公表する」ものとする。

(2) 各教科等の具体的な対応については、上記(1)の公表に関する基本的な考え方に基づいた上で、一般入試前期日程に関しては、教科等ごとに各年度の問題作成分科委員長のもとに対応を検討し、入学センターに報告する。

一般入試後期日程、広島大学光り輝き入試及び学部第 3 年次編入学試験に関しては、各部局において年度ごとに対応を検討し、入学センターに報告する。

(3) 解答の公表が「第二の入試ミス」に繋がらないよう、慎重な点検を実施する。

(4) 公表の時期については、原則として各入試の合格者発表の期日までに開始する。

#### 【お問い合わせ先】

広島大学教育室教育部入試グループ 村岡昌良  
TEL:082-424-6171 FAX:082-424-6710

## 入試情報の取扱い（解答の公表等）について

平成 31 年度入学者選抜実施要項（H30.6.4 付け 文部科学省高等教育局長通知）

### 2. 入試情報の取扱い

（1）個別学力検査における試験問題やその解答については、当該入試の実施以降に受験者や次年度以降の入学志願者が学習上参考にできるようにするため、次のとおり取り扱うものとする。

①試験問題については、原則として公表するものとする。

②解答については、原則として公表するものとする。ただし一義的な解答が示せない記述式の問題等については、出題の意図又は複数の若しくは標準的な解答例等を原則として公表するものとする。

なお、試験問題中の著作物の権利処理が困難である場合には、著作物名を明示すること等により問題の内容が明らかになるように努める。

### 1. 対象とする試験の範囲

一般入試前期日程、後期日程、広島大学光り輝き入試及び学部第 3 年次編入学試験のすべてを対象とする。

### 2. 試験問題の公表

（1）試験問題については、公表するものとし、各入試方式とも原本の提供、閲覧及びホームページへの掲載を実施する。

ここで言う試験問題とは、一般入試前期日程及び後期日程の個別学力検査の問題並びにそれに準じた内容を持つ紙媒体により出題された問題で、受験者以外の第三者が見る可能性のあるものを指す。

なお、ホームページへは、著作物の権利処理を行わず、著作物名を明示すること等により問題の内容を明らかにする方法で掲載する。

（2）公表の時期については、原則として各入試の合格者発表の期日までに開始する。

### 3. 解答の公表

（1）解答の公表に関する基本的な考え方は、解答については「原則として公表する」ものとする。ただし、一義的な解答が示せない記述式の問題等については、「出題の意図又は複数の若しくは標準的な解答例等を原則として公表する」ものとする。

- (2) 各教科等の具体的な対応については、上記(1)の公表に関する基本的な考え方に基づいた上で、一般入試前期日程に関しては、教科等ごとに各年度の問題作成分科委員長のもとに対応を検討し、入学センターに報告する。  
一般入試後期日程、広島大学光り輝き入試及び学部第3年次編入学試験に関しては、各部局において年度ごとに対応を検討し、入学センターに報告する。
- (3) 解答の公表が「第二の入試ミス」に繋がらないよう、慎重な点検を実施する。
- (4) 公表の時期については、原則として各入試の合格者発表の期日までに開始する。



平成30年7月26日

第1回ダイバーシティ環境推進シンポジウム

「女性も男性もともに活躍できる社会を目指して」

を開催いたします

広島大学は、文部科学省の平成29年度科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（牽引型）」に採択されました。その事業の一環として、共同実施機関のマツダ株式会社、デルタ工業株式会社、一般財団法人国際開発センターの共催と、東広島市の後援のもと、中国地区・四国地区の女性研究者活躍推進、男女共同参画推進を目的に本シンポジウムを開催いたします。

「女性も男性もともに活躍できる社会を目指して」をテーマに、基調講演ではシカゴ大学教授の山口一男氏に、広島大学女性活躍促進賞（メタセコイア賞）授賞式及び受賞講演では福山大学長の松田文子氏に、それぞれお話しいただきます。

パネルディスカッションでは、3名のパネリストから「連携機関等における女性活躍への取組」の事例報告後、コメンテーターを交えてディスカッションを行います。

参加費は無料でどなたでも参加いただけます。みなさまのご参加をお待ちしています。

記

日 時：平成30年7月30日（月）13時00分～17時00分  
（受付開始：12時20分）

場 所：広島大学東千田未来創生センターM303

テーマ：女性も男性もともに活躍できる社会を目指して

内 容：

○第1部

基調講演：「女性が男性と同等に活躍する社会の実現には、どのような社会  
変革が必要で、その実証的根拠は何か？」

山口一男（シカゴ大学教授）

メタセコイア賞授賞式及び受賞講演

松田文子（福山大学長）

○第2部

パネルディスカッション

【お問い合わせ先】

財務・総務室広報部広報グループ

TEL:082-424-3749 FAX:082-424-6040

第1回

文部科学省科学技術人材育成費補助事業  
ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽引型)  
『国際型ダイバーシティ研究環境実現プログラム』

改訂版

# ダイバーシティ環境推進シンポジウム

## ～女性も男性もともに活躍できる社会を目指して～

〈日時〉平成30年 **7月30日**(月) 13:00～17:00

〈会場〉**広島大学 東千田未来創生センター M303講義室**  
(広島市中区東千田町1-1-89)

**趣旨:**日本社会は、性別、国籍、民族、年齢などの属性や背景にかかわらず、誰もがその能力を最大限に発揮し、活躍できる社会を目指している。同時に、各分野で国際的な競争力を高めるために、これまで以上の新たな着想や変革が求められている。これらの課題に応えるには、多数派のライフスタイルや価値観を標準とした従来の制度や組織運営を改め、多様な価値観や文化背景をもつ人々が、それぞれにその個性と能力を活かし、革新的発想を生み出せるような仕組みづくりが必要である。しかし、日本では、ジェンダー・ギャップ指数(2017年)が144カ国中114位と過去最低を更新しており、人口の約50%を占める「女性」の活躍ですら十分に実現されているとは言い難いのが現状である。このシンポジウムでは、女性も男性も活躍できる社会を実現するために、社会や組織の仕組み、及び個人々のあり方をどのように変える必要があるのかを考える。

**ねらい:**大学をはじめとする教育機関及び企業の役員・管理者層をターゲットとし、女性活躍のための組織制度のあり方について考える。また、大学院生以上の女性研究者をターゲットとして、自身が能力を伸ばして活躍するビジョンを描く機会と、そのためのネットワーク構築の機会を提供する。

### プログラム

#### <第1部>

13:00～ 開会挨拶 **越智 光夫** (広島大学学長)

13:10～14:20 基調講演 **山口 一男** (シカゴ大学教授)

演題「女性が男性と同等に活躍する社会の実現には、  
どのような社会変革が必要で、その実証的根拠は何か？」

14:20～15:00 **メタセコイア賞授賞式 及び 受賞講演**

受賞講演 **松田 文子** (福山大学学長)

15:00～15:15 休 憩

#### <第2部>

15:15～16:50 **パネルディスカッション**

テーマ:～女性も男性もともに活躍できる社会を目指して～

16:50～17:00 閉会挨拶 **相田 美砂子** (広島大学理事・副学長)

17:20～19:20 情報交換会 (会場:料亭 久里川)

シンポジウム  
参加費無料

情報交換会 4,500円

要申込7月25日※

無料託児あり

要申込7月17日※

お申込み・お問い合わせ



国立大学法人 広島大学 学術室 研究企画室  
ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽引型)事業 事務局

〒739-8524 広島県東広島市鏡山1-1-1

TEL:082-424-5697、5722 FAX:082-424-4592

E-mail:ura-women@office.hiroshima-u.ac.jp

URL:http://home.hiroshima-u.ac.jp/womenres/

# 第1回 ダイバーシティ環境推進シンポジウム 申込書

～女性も男性もともに活躍できる社会を目指して～

**日時** 平成30年7月30日(月)

**場所** 広島大学 東千田未来創生センター

●シンポジウム・情報交換会

締切 7月25日(水)

シンポジウム参加費無料 / 情報交換会参加費4,500円

	所属	職名	氏名	情報交換会
1				参加・不参加
	TEL.	—	E-Mail.	
2				参加・不参加
	TEL.	—	E-Mail.	
3				参加・不参加
	TEL.	—	E-Mail.	
4				参加・不参加
	TEL.	—	E-Mail.	
5				参加・不参加
	TEL.	—	E-Mail.	

●託児申込

要予約

締切 7月17日(火)

料金無料

	保護者氏名	お子様氏名	年齢	性別
1			才	男の子・女の子
2			才	男の子・女の子

## 参加お申込み方法

※事前申し込みをお願いします。(当日参加可)

※お申し込みの際は、WEBでの申込または、上記の申込書に必要事項をご記入のうえ、FAXまたは、E-mailにてご連絡ください。

※ご記入いただく個人情報につきましては、当シンポジウムでのみ使用し、これ以外の目的で利用することはありません。

★シンポジウム参加費 無料

★情報交換会参加費 お一人4,500円(当日受付にて徴収)

★申込期限 シンポジウム・情報交換会…7月25日(水)、託児…7月17日(火)

WEB申込: 右のQRコード又はダイバーシティ事業ホームページ

(<http://home.hiroshima-u.ac.jp/womenres/>)から行ってください。



## 【会場案内図】



## 【お申込み・お問い合わせ】

広島大学 学術室 研究企画室

ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽引型)事業 事務局

住 所 : 広島県東広島市鏡山1-1-1

T E L : 082-424-5697, 5722

F A X : 082-424-4592

E-mail : [ura-women@office.hiroshima-u.ac.jp](mailto:ura-women@office.hiroshima-u.ac.jp)

U R L : <http://home.hiroshima-u.ac.jp/womenres/>

## 【交通案内】

広島大学 東千田未来創生センター

〒730-0053 広島市中区東千田町1-1-89 電話(082)542-6968

●バ ス : JR広島駅(広島市)からアルパーク方面行き

広島バス(50号(東西)線)約12分 日赤前下車 徒歩約2分

●市内電車 : JR広島駅(広島市)から紙屋町経由広島港行

広電(1号線)約30分 日赤病院前下車 徒歩約3分



平成 30 年 7 月 26 日

広島大学大学院文学研究科・文学部  
第 16 回「文藝学校」講演会を開催します

広島大学大学院文学研究科・文学部と鳥取県米子市の NPO 法人「本の学校」は、株式会社今井書店グループと共催で、毎年「文藝学校」講演会を開催しています。

今年度は下記のとおり開催します。また、講演終了後には高校生の皆さんからの受験相談も承ります。現役の学生が対応しますので、お気軽にご参加ください。

広島大学文学部の授業（ゼミナール）を「文藝学校」で模擬体験してみませんか。皆様ふるってご来聴ください。

記

【日 時】 平成 30 年 8 月 25 日（土）10：30～17：00

【場 所】 本の学校 今井ブックセンター 2 階多目的ホール  
（鳥取県米子市新開 2-3-10）

【入場料】 無 料

【プログラム】

講演 1 デュマ『モンテ・クリスト伯』—「それは、震えるほど美しい復讐劇。」

〔講師〕 宮川 朗子（文学研究科教授：欧米文学語学・言語学講座）

講演 2 ジェイン・オースティンの写実と英語の素晴らしさに触れる

〔講師〕 今林 修（文学研究科教授：欧米文学語学・言語学講座）

講演 3 古代地中海世界における呪詛文化

〔講師〕 前野 弘志（文学研究科教授：歴史文化学講座）

講演 4 「この世をば～」から 1000 年—藤原道長の和歌を読む

〔講師〕 妹尾 好信（文学研究科教授：日本・中国文学語学講座）

受験相談会（16：15～17：00）

【お問い合わせ先】

広島大学文学研究科支援室 難波 さゆり  
TEL:082-424-6604 FAX:082-424-0315

# 人文学は、半端ない。

広島大学大学院文学研究科・文学部

入場無料

## 第16回 「文藝学校」 講演会

日時

平成30年8月25日（土）

午前10時30分～午後5時

会場

本の学校 今井ブックセンター2階 多目的ホール

鳥取県米子市新開2-3-10

TEL 0859-31-5001

### 講師と演題

- 宮川朗子（欧米文学語学・言語学講座 教授）（10:40～11:40）  
デュマ『モンテ・クリスト伯』  
— 「それは、震えるほど美しい復讐劇。」
- 今林 修（欧米文学語学・言語学講座 教授）（11:50～12:50）  
ジェイン・オースティンの写実と英語の  
素晴らしさに触れる
- 前野弘志（歴史文化学講座 教授）（13:50～14:50）  
古代地中海世界における呪詛文化
- 妹尾好信（日本・中国文学語学講座 教授）（15:00～16:00）  
「この世をば〜」から1000年  
— 藤原道長の和歌を読む
- 受験相談会（16:15～17:00）

### 主催

広島大学大学院文学研究科・文学部  
NPO法人「本の学校」

### 共催

（株）今井書店グループ・「本の学校」郁文塾

### お問い合わせ・お申し込み先

NPO法人「本の学校」

（TEL 0859-31-5001 / FAX 0859-31-9231）

E-Mail b-schule@imaibooks.co.jp

広島大学大学院文学研究科・文学部が鳥取県米子市のNPO法人「本の学校」と共同で毎年開催している「文藝学校」講演会を、今年も開催いたします。

講演終了後には高校生の皆さんからの受験相談も承ります。現役の学生が対応しますので、お気軽にご参加ください。

今回は、定番の日本文学語学と欧米文学語学の講演に加えて、歴史文化学（西洋史学）の講演が予定されています。一足早く、広島大学文学部のゼミナールを体験してみませんか。

